

2015年3月期 決算説明会

ウシオ電機株式会社

2015年5月11日

〈免責事項〉本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

USHIO

-
- I. 2014年度通期業績概況
 - II. 2015年度業績予想
 - III. 中期経営計画
 - ※ 決算補足資料

今回の決算発表のポイント

**連結売上高、前年比1.0%増の1,593億円
連結営業利益は、前年比14.5%減の103億円の増収減益決算。**

装置事業

映像装置

一般映像用途は増収するも、シネマ用途の不調により減収。

光学装置

露光用EUV光源の事業縮小に加え、電子部品用露光装置の不振、加えて光配向装置は予定通り出荷されたものの、下期において売上計上の期ズレが想定以上に発生し減収。

光源事業

放電ランプ

シネマプロジェクタ用クセノンランプ、データプロジェクタ用ランプの増収に加え、固体光源が大きく牽引し増収。

ハロゲンランプ

引き続きOA用ランプの販売が拡大し増収。

通期予想・実績比較

(億円)	FY14 (予想)	FY14 (実績)	差異	実績/予想 (%)
売上高	1,600	1,593	▲7	99.6
営業利益	110	103	▲7	93.6
営業利益率 (%)	6.9	6.5	▲0.4P	-
経常利益	130	137	+7	105.4
当期利益	100	112	+12	112.0
EPS (円)	76.68	86.40	+9.72	112.7
ROE (%)	5.2	5.6	+0.4P	-
配当 (円)	24	24	+0	-
配当性向 (%)	31.3	27.8	▲3.5P	-
設備投資額	80	108	+28	135.0
減価償却費	55	59	+4	107.3
研究開発費	105	108	+3	102.9
為替レート (円)				
USD	105	109	-	-
EUR	139	139	-	-

業績サマリー

(億円)	FY13	FY14	YoY		FY13	FY14	YoY	
	通期累計	通期累計	増減	%	4Q	4Q	増減	%
売上高	1,578	1,593	+15	+1.0	439	445	+6	+1.5
営業利益	121	103	▲17	▲14.5	36	39	+3	+9.5
営業利益率 (%)	7.7	6.5	▲1.2P	-	8.3	8.9	+0.7P	-
経常利益	159	137	▲21	▲13.8	37	45	+8	+21.7
当期利益	107	112	+5	+4.7	15	31	+15	+100.7
EPS (円)	82.19	86.40	+4.21	+5.1	11.89	23.92	+12.03	+101.2
為替レート (円)								
USD	100	109			103	119		
EUR	135	139			140	138		

為替による通期の影響額 (億円)	売上高	営業利益	経常利益
対 USD	10	1	1

業績サマリー 《四半期比較》

(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	QoQ	
					増減	%
売上高	344	399	404	445	+41	+10.2
営業利益	14	25	23	39	+16	+67.6
営業利益率 (%)	4.2	6.4	5.9	8.9	+3.1P	-
経常利益	17	33	40	45	+4	+11.9
当期利益	13	31	36	31	▲5	▲14.8
EPS (円)	10.66	23.82	28.06	23.92	▲4.14	▲14.8
為替レート (円)						
USD	102	103	112	119		
EUR	141	138	141	138		

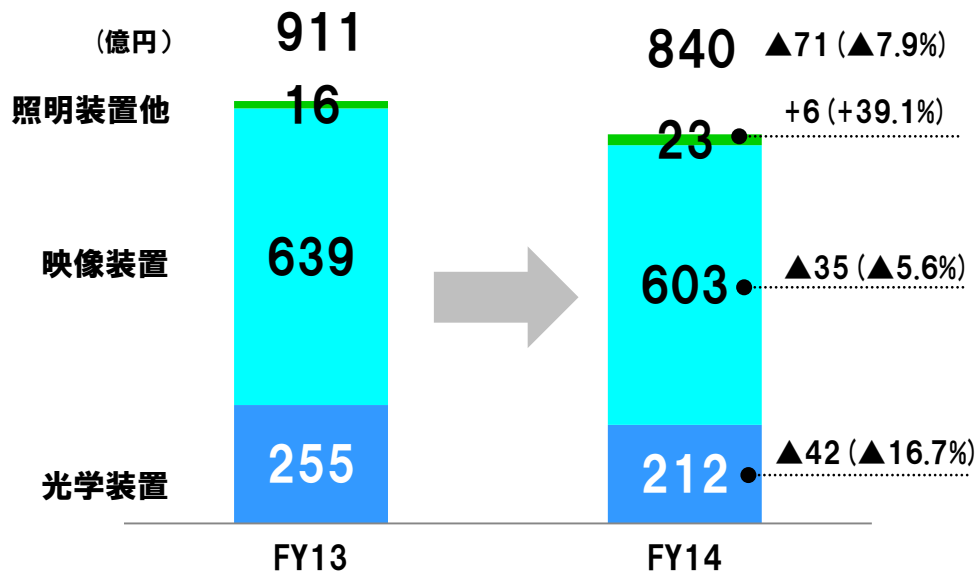
セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

(億円)		FY13	FY14	YoY		FY13	FY14	YoY	
		通期累計	通期累計	増減	%	4Q	4Q	増減	%
装置事業	売上高	911	840	▲71	▲7.9	258	240	▲17	▲6.7
	営業利益	25	▲0	▲25	-	▲1	3	+5	-
	営業利益率 (%)	2.8	▲0.0	▲2.8P	-	▲0.7	1.4	+2.2P	-
光源事業	売上高	635	719	+83	+13.2	169	194	+24	+14.4
	営業利益	93	100	+6	+7.3	38	34	▲3	▲9.4
	営業利益率 (%)	14.8	14.0	▲0.8P	-	22.4	17.7	▲4.7P	-
その他	売上高	30	33	+3	+12.0	11	10	▲0	▲6.0
	営業利益	0	1	+0	+126.1	0	1	+0	+557.6
	営業利益率 (%)	2.6	5.2	+2.6P	-	1.4	9.6	+8.2P	-

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

装置事業セグメント概況

《4Q累計前年比較》 売上高



映像装置

YoYでは一般映像用の販売は増収もDCPの出荷台数は5割減。

光学装置

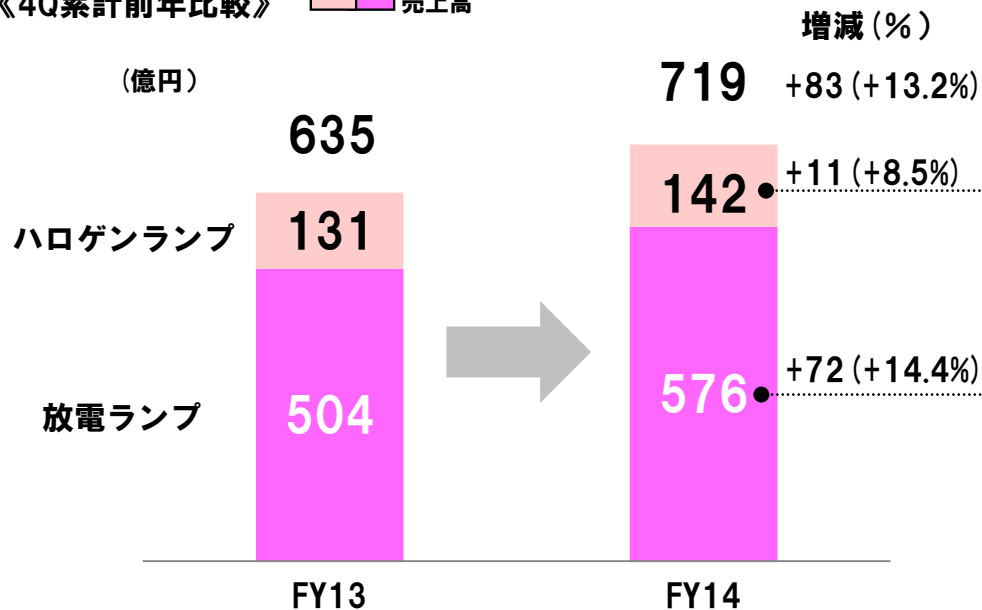
YoYでは露光装置の不振と光配向装置の検収期ずれにより減収。

《4Q累計前年比較》		FY13	FY14	YoY	《4Q直前四半期比較》		3Q	4Q	QoQ
(億円)		通期累計	通期累計		(億円)				
売上高	映像装置	639	603	▲35	売上高	映像装置	175	169	▲6
	光学装置	255	212	▲42		光学装置	28	64	+35
	照明装置他	16	23	+6		照明装置他	8	7	▲1
合計		911	840	▲71	合計		212	240	+28

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

光源事業セグメント概況

《4Q累計前年比較》 売上高



ハロゲン
ランプ

YoYではOA用の高付加価値
ランプにより増収。

放電
ランプ

YoYでは固体光源の増収が
牽引。

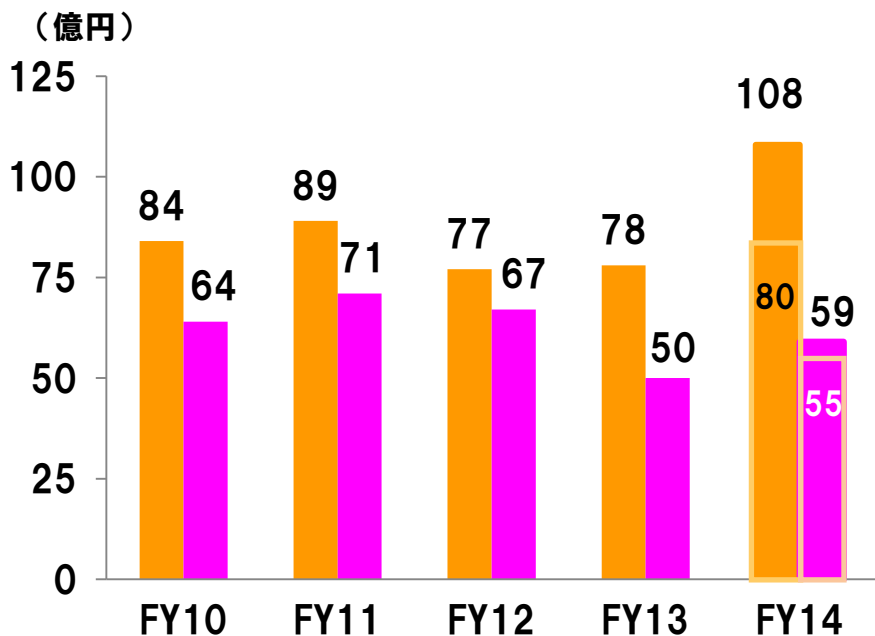
《4Q累計前年比較》 (億円)	FY13	FY14	YoY	《4Q直前四半期比較》 (億円)	3Q	4Q	QoQ
	通期累計	通期累計			売上高	売上高	
売上高 放電ランプ	504	576	+72	売上高 放電ランプ	147	157	+9
ハロゲンランプ	131	142	+11	ハロゲンランプ	36	36	+0
合計	635	719	+83	合計	184	194	+9

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

設備投資額・減価償却費・研究開発費

◆設備投資額・減価償却費

■ 設備投資額 ■ 減価償却費
 設備投資額(計画) 減価償却費(計画)

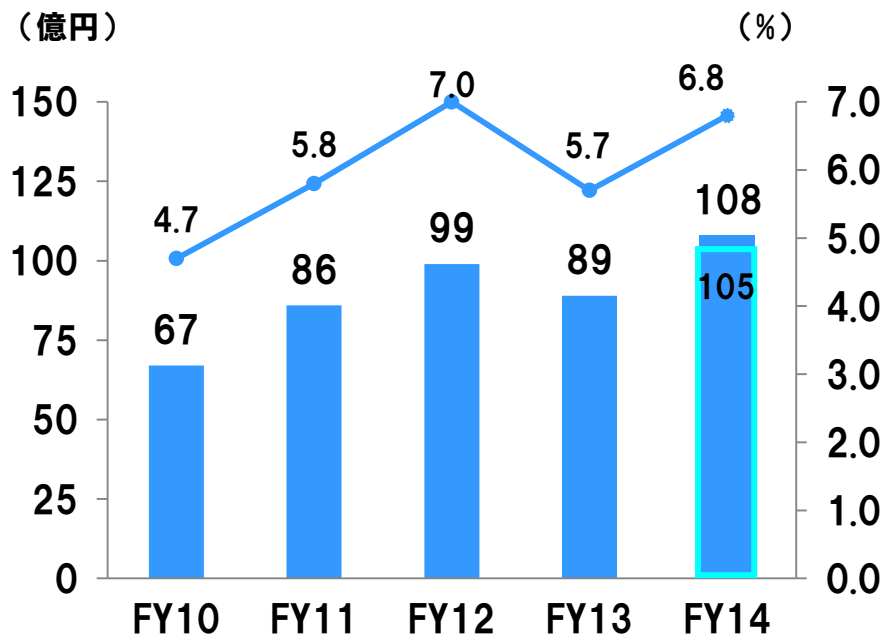


M&Aによる設備投資増加分(のれん含む)
 FY13 アドテック +14億
 FY14 ウシオセミコンダクタ +10億
 Christie関連 +31億

	1Q	2Q	3Q	4Q
設備投資額	9	8	50	39
減価償却費	13	13	15	16

◆研究開発費

■ 研究開発費 ●—● 売上高研究開発費率(%)
 研究開発費(計画)



	1Q	2Q	3Q	4Q
研究開発費	24	26	25	32

-
- I. 2014年度通期業績概況
 - II. 2015年度業績予想**
 - III. 中期経営計画
 - ※ 決算補足資料

2015年度業績予想

(億円)	FY14	FY15 (予想)	YoY		2Q/FY15 (予想)
			増減	%	
売上高	1,593	1,800	+207	+12.9	850
営業利益	103	130	+27	+25.5	60
営業利益率 (%)	6.5	7.2	+0.7P	-	7.1
経常利益	137	150	+13	+9.4	70
当期利益	112	120	+7	+6.4	60
EPS (円)	86.40	91.91	+5.51	+6.4	45.96
ROE (%)	5.6	5.7	+0.1P	-	-
配当 (円)	24	26	+2	-	-
配当性向 (%)	27.8	28.3	+0.5P	-	-
設備投資額	※ 108	96	▲12	▲11.1	-
減価償却費	59	72	+13	+22.0	-
研究開発費	108	110	+2	+1.9	-
為替レート (円)					
USD	109	120	-		120
EUR	139	138	-		138

※ M & Aによる設備投資増加分 (のれん含む) 41億円含む

サブセグメント別 売上高予想

(億円)		FY14	FY15 (予想)	YoY	
				増減	%
装置事業	映像装置	603	750	+147	+24.4
	光学装置	212	245	+33	+15.6
	照明装置他	23	20	▲3	▲13.0
	小計	840	1,015	+175	+20.8
光源事業	放電ランプ	576	620	+44	+7.6
	ハロゲンランプ	142	140	▲2	▲1.4
	小計	719	760	+41	+5.7
その他	産業機械・その他	33	25	▲8	▲24.2
合計		1,593	1,800	+207	+13.0

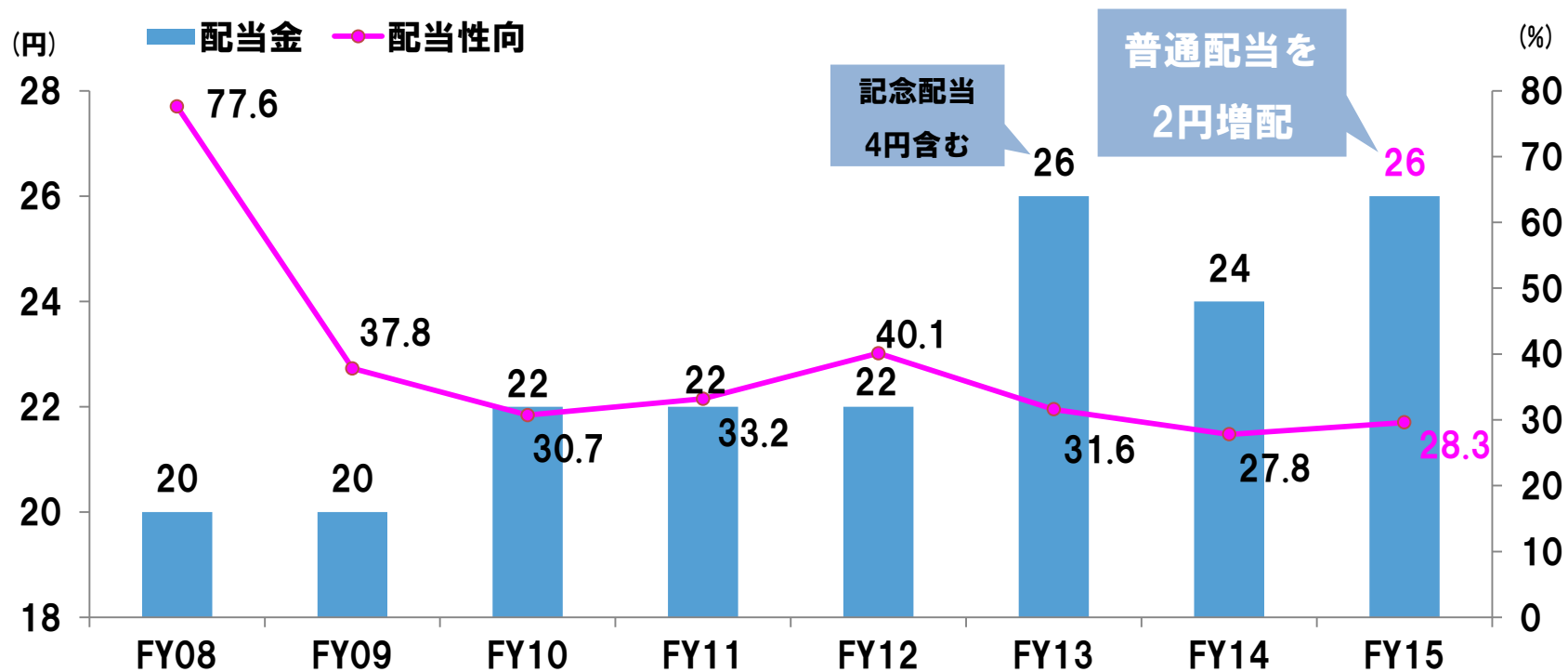
主なサブセグメント別 事業予想



※増加率は対FY14

株主還元

◆2015年度配当金(26円)



◆自己株取得予定

2015年5月12日～6月23日の期間において株式120万株、総額20億円

その後も機動的に実施。

-
- I. 2014年度通期業績概況
 - II. 2015年度業績予想
 - III. 中期経営計画**
 - ※ 決算補足資料

2017年度（2018年3月期）達成目標

ROE 8%以上

売上高 2,200億円 営業利益 180億円 営業利益率 8.2%
(2019年度達成目標 ROE10%)

1.中期経営計画の背景

2.中期経営計画概要

- a.事業体質の改善
- b.金融資産の事業資産化
- c.株主還元の強化

3.事業別中期経営計画

- a.サブセグメント別売上高
(全社営業利益・営業利益率・ROE)
- b.装置事業 (b-1.映像装置 b-2.光学装置)
- c.光源事業
- d.バイオメディカル事業

1.中期経営計画の背景

課題

- ①開発投資に対するリターンの低下
- ②新規成長ドライバの欠如



現状

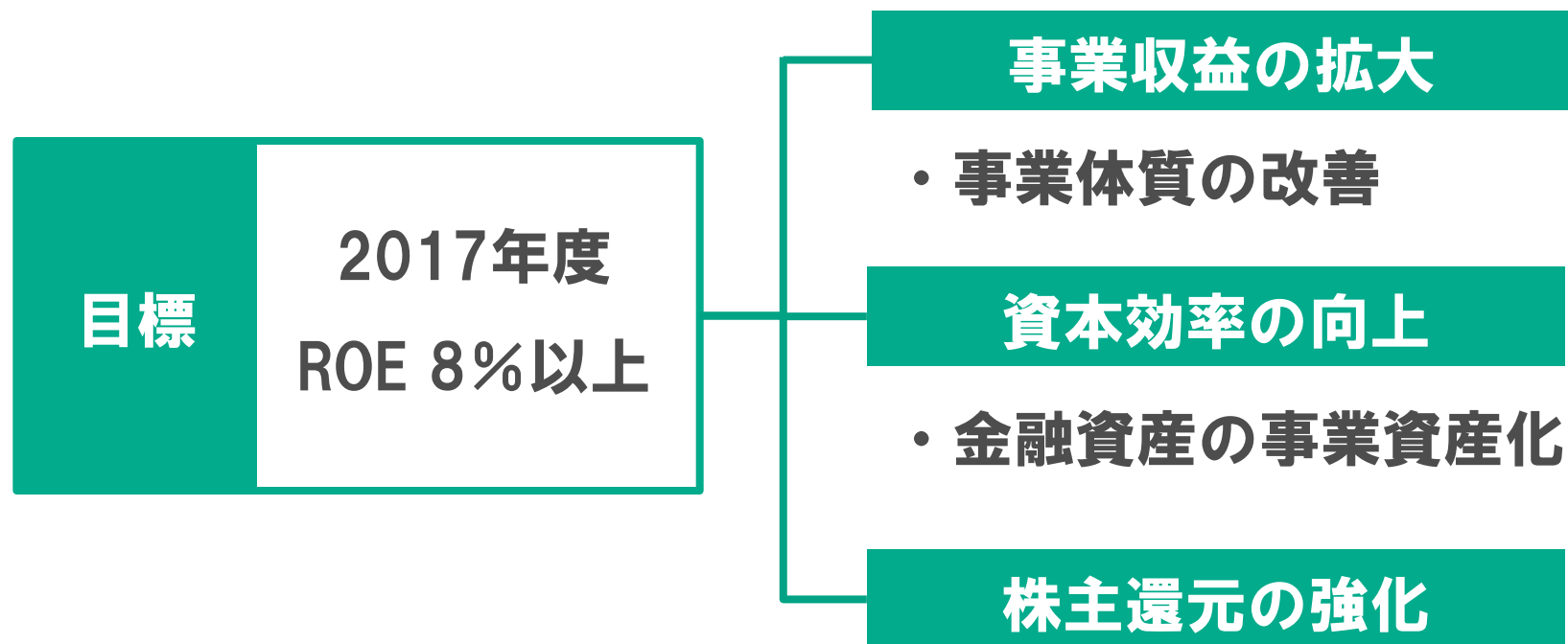
収益性の低下
(ROE<市場期待、PBR1.0倍割れ)



計画

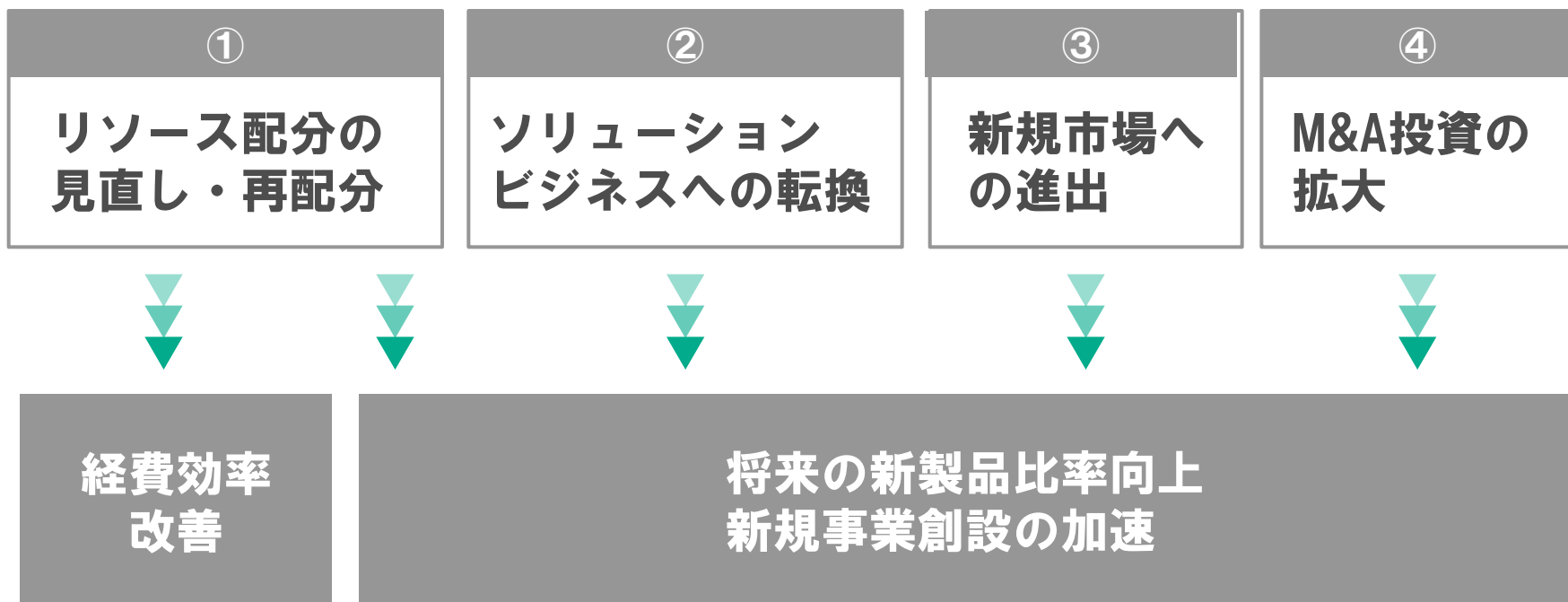
ROE重視の経営
(目標：2017年度 ROE8%以上)

2.中期経営計画概要



2.中期経営計画概要 a.事業体質の改善

事業体質の改善



事業収益の拡大

2.中期経営計画概要 b.金融資産の事業資産化

課題

金融資産が総資産の約半分を占めるまでに増加していることから、資本効率が悪化し、ROE低迷の要因の一つとなっている



金融資産の事業資産化を加速



資本の効率化

将来

金融資産の財務収益依存から脱却し、
真の事業利益から安定したROEの維持を目指す

株主還元の強化

①

安定配当方針継続

②

自己株買い
より積極的、機動的に実施

5/11
自己株式買入発表
20億円、120万株

5/11
役員向け株式報酬
制度の導入

3.事業別中期経営計画 a.サブセグメント別売上高（全社営業利益・営業利益率・ROE）

セグメント	サブセグメント	当年度	1年目	3年目	3年間の増減 (FY17-FY14)		CAGR
		FY14	FY15	FY17	(億円)	(%)	(%)
		(実績)	(計画)	(計画)			
装置事業	映像装置	603	750	930	327	54	16
	光学装置	212	245	360	148	70	19
	照明装置	23	20	30	7	30	9
	小計	840	1,015	1,320	480	57	16
光源事業	放電ランプ (固体光源含む)	576	620	700	124	22	7
	ハロゲンランプ	142	140	150	8	6	2
	小計	719	760	850	131	18	6
その他	産業機械・他	33	25	30	▲3	▲9	-
合計		1,593	1,800	2,200	607	38	11
全社	営業利益(億円)	103	130	180	76	74	20
	営業利益率(%)	6.5	7.2	8.2	1.7p	-	-
	ROE(%)	5.6	5.7	8.0以上	2.4p	-	-

為替前提：1US\$ = 120円 1EURO = 138円

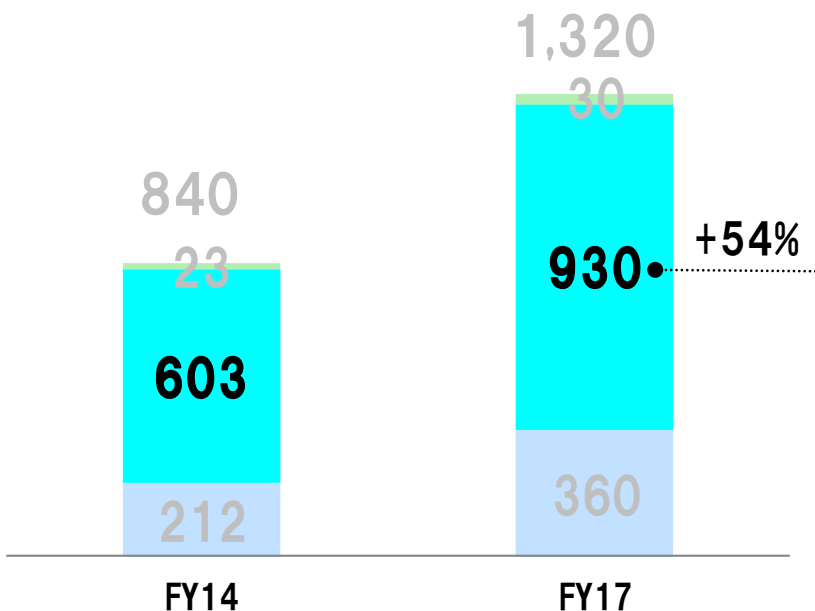
3.事業別中期経営計画 b.装置事業 b-1.映像装置

トータルソリューションビジネスの拡大

目標

FY2017

施策



売上高

930億円 (+54%)

営業利益率

5%以上
(装置事業全体)

一般映像

シネマ

年率10%の成長を目指す

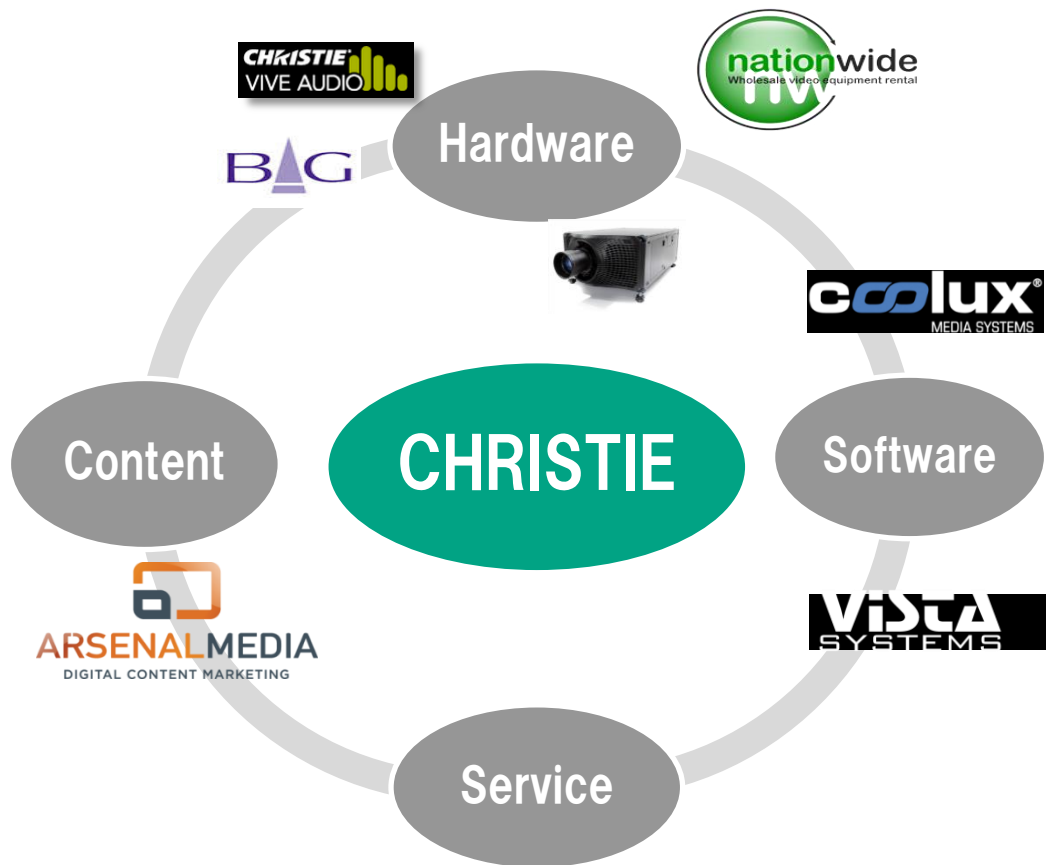
成長分野での投資機会増加
更なるグローバル展開

収益性維持→再飛躍へ

ソリューションビジネス拡大
更新需要の確実な取り込み

映像画像事業を取り巻くトータルソリューション

Christieグループの関連図



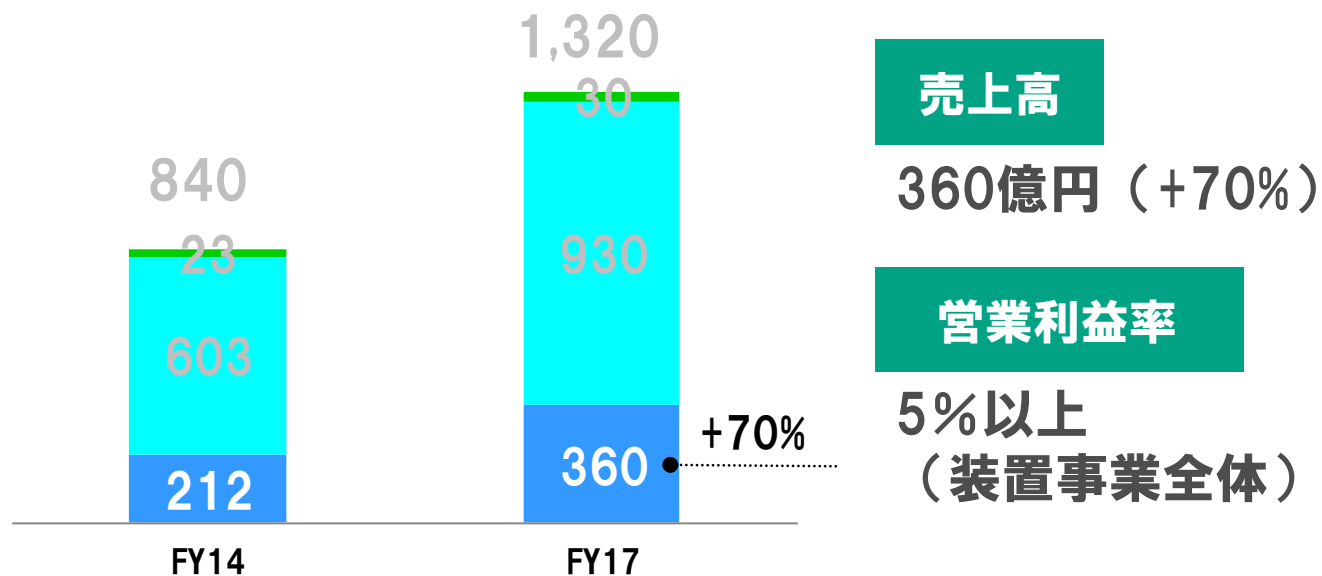
事例



経常的な黒字化を目指した構造改革

目標

FY2017



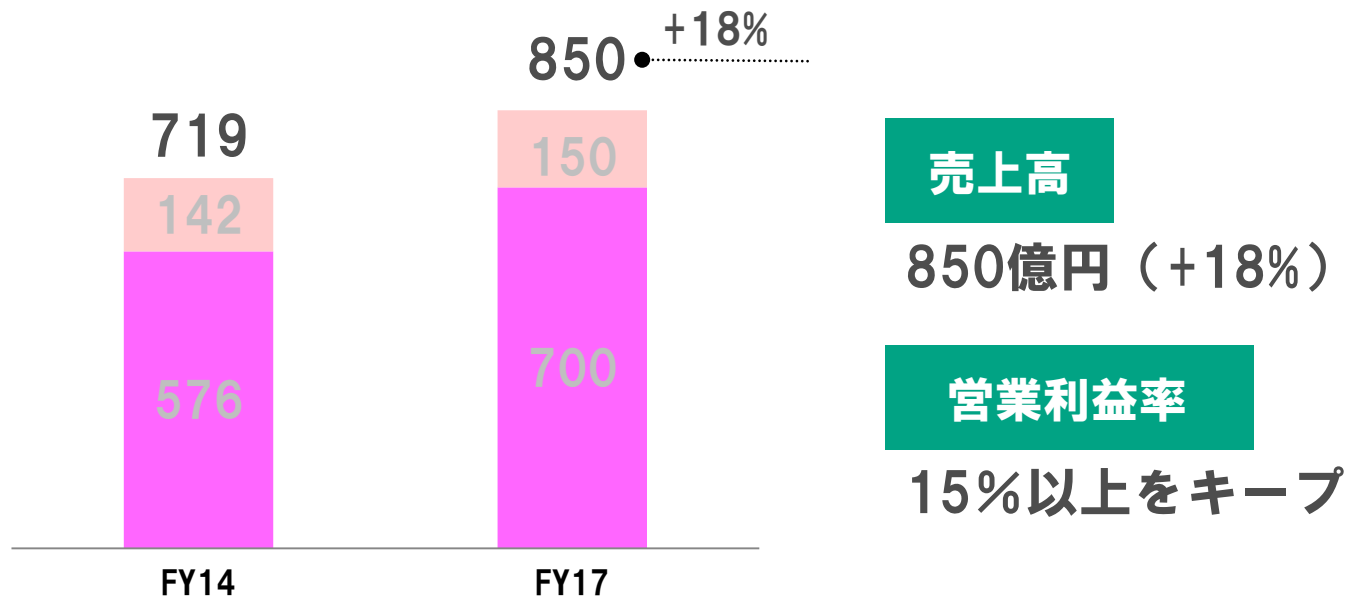
施策

グループ戦略の見直し
(アドテックエンジニアリングとの関係強化)

「持続的成長」と「収益性の維持」

目標

FY2017



施策

ソリューションビジネスを展開

- ▶ 新規分野・・・成長市場へ積極的に参入
- ▶ 既存分野・・・シェア維持

光源事業の主な「成長市場」

ライフサイエンス分野

環境、ヘルスケア、エネルギーなど
(測定・分析、植物育成、水処理、空間処理など)

例1 水処理

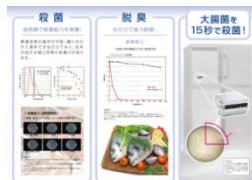


飲料工場での水殺菌

目的：水中の微生物・菌を紫外線で死滅、汚れの浄化

効果：水の再利用、環境維持

例2 食品殺菌



目的：食品の微生物・菌を紫外線で死滅

効果：食品の安全性維持

例3 センサー吸光度



目的：対象物への菌や汚れの付着を測定

効果：衛生・安全性確認

吸光度センサ (PAS)
/レーザー励起蛍光センサ (LIF)

例4 脱硝・脱臭



脱硝イメージ

目的：空間スペースの脱硝・脱臭

効果：脱硝・脱臭

自動車分野

ヘッドアップディスプレイ、加熱用途など



ヘッドアップディスプレイ

方針

第三の柱となる事業とすべく投資を継続

施策

- ・ 既存製品の販売拡大
- ・ M&Aの促進
- ・ 開発投資効率の改善
- ・ グループ戦略の見直し



セラビームUV308



ポイントリーダー



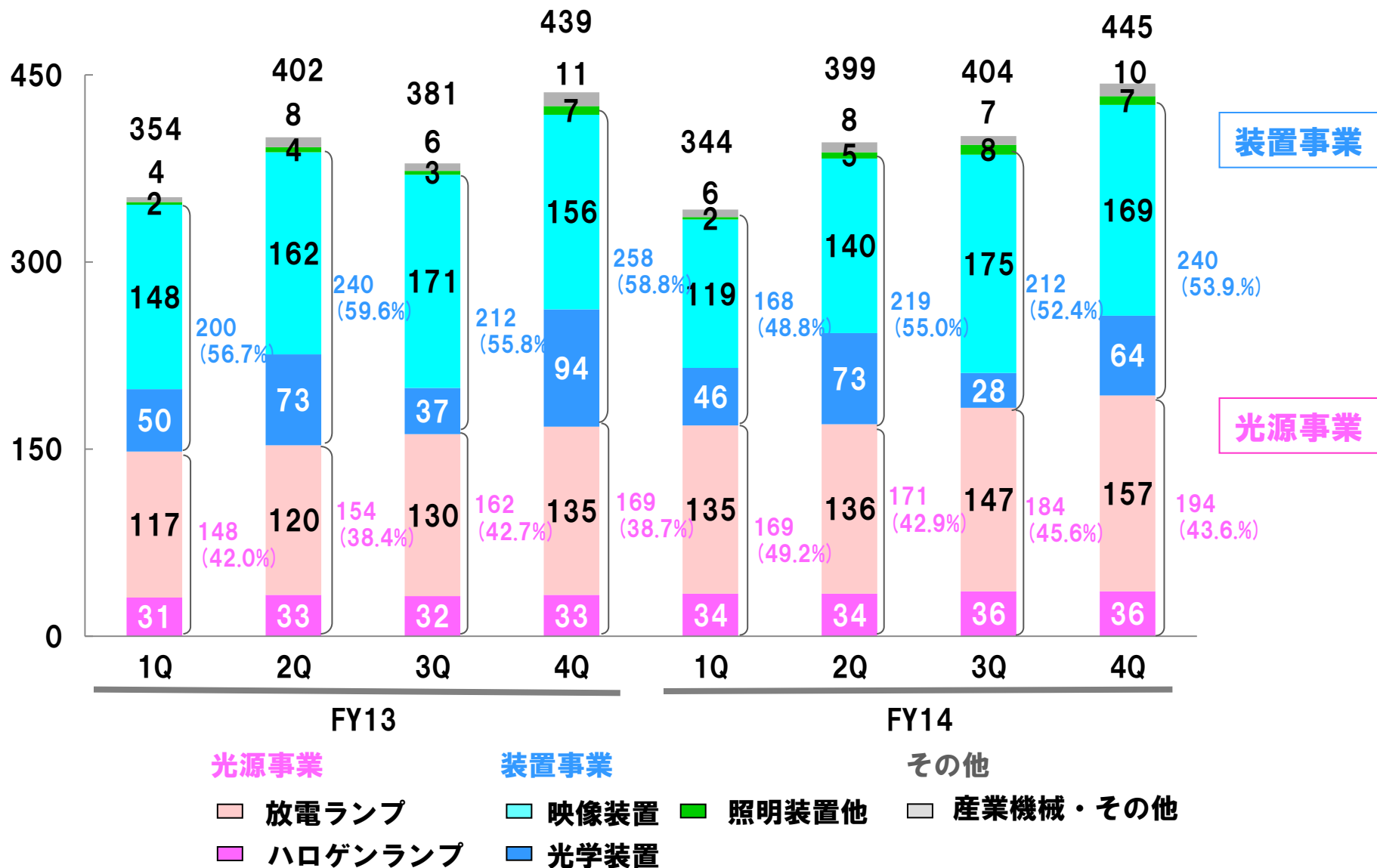
セラビーム スーパーオッセオ



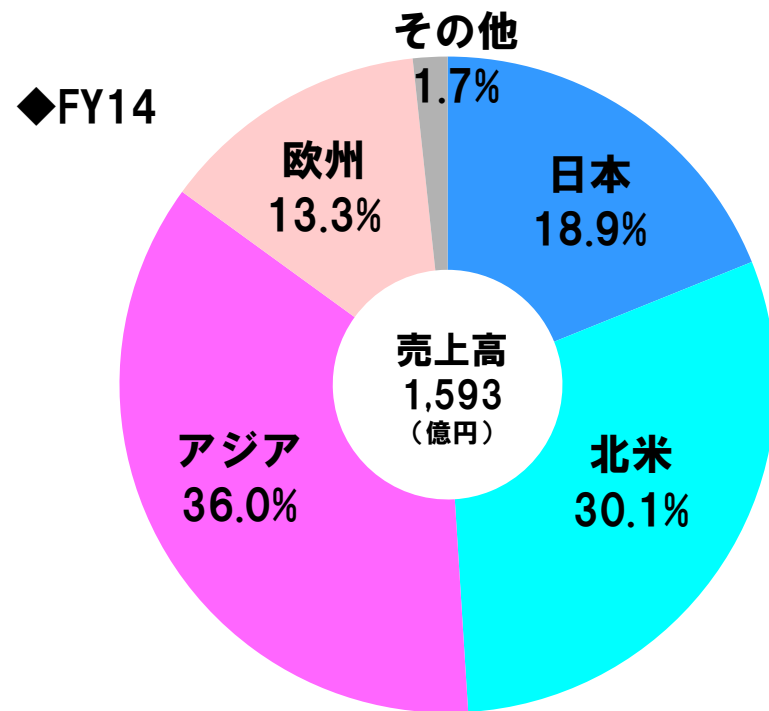
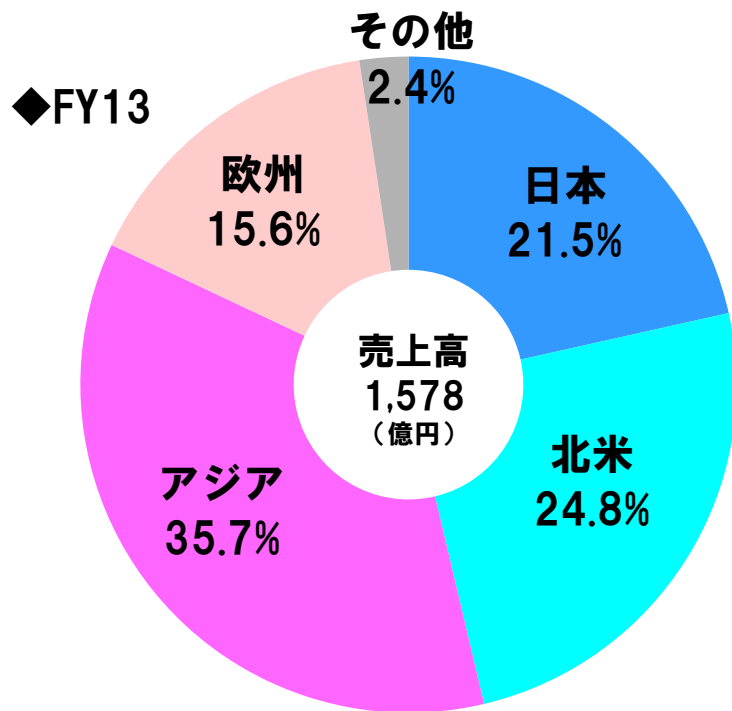
ペインビューアー

-
- I. 2014年度通期業績概況
 - II. 2015年度業績予想
 - III. 中期経営計画
 - ※ 決算補足資料**

サブセグメント別売上高



海外売上高比率 《通期累計》



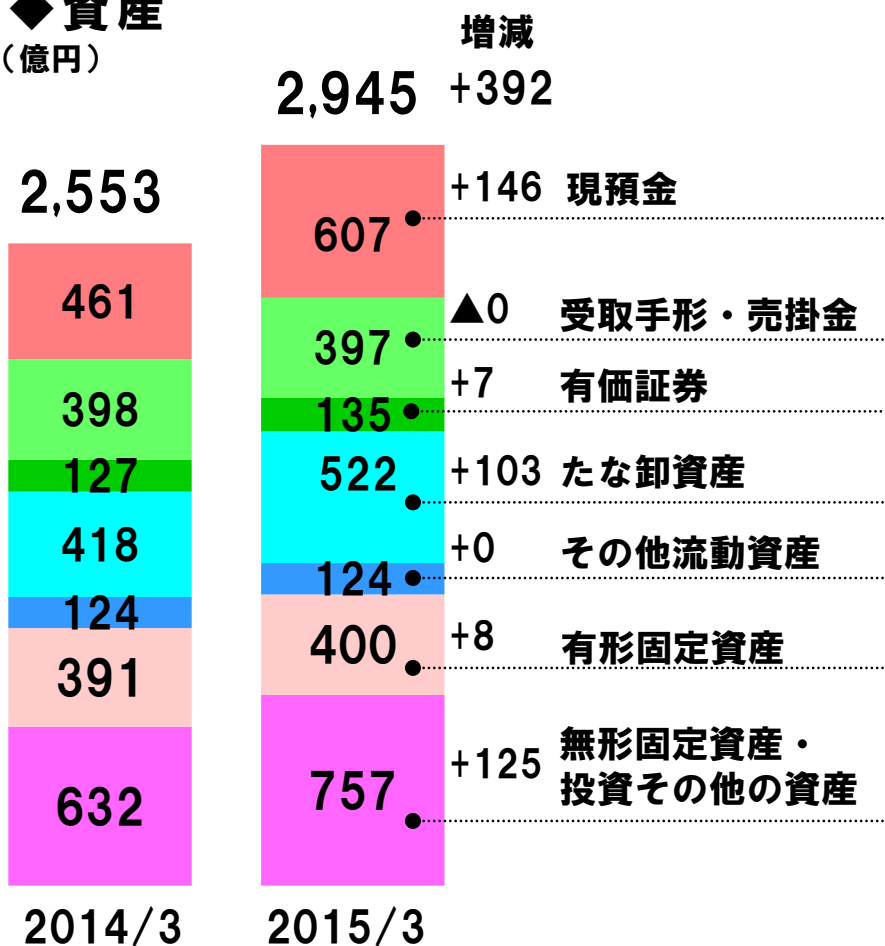
営業外収支《通期累計》

(億円)	FY13	FY14	YoY
営業外収益	43	37	▲6
受取利息	6	8	+2
受取配当金	9	10	+0
投資有価証券売却益	1	-	▲1
為替差益	16	7	▲9
売買目的有価証券運用益	2	4	+1
その他	6	7	+0
営業外費用	5	3	▲1
支払利息	2	1	▲0
貸倒引当金繰入額（長期）	-	-	-
その他	3	1	▲0
営業外収支	37	33	▲4

BS内訳

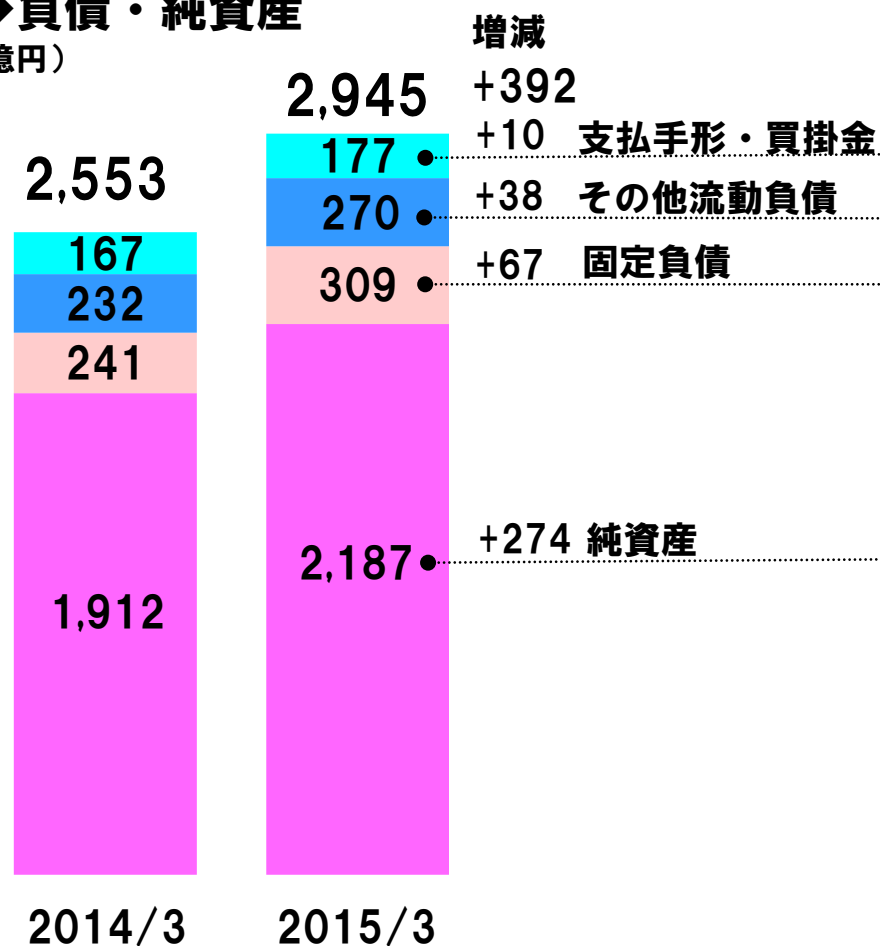
◆資産

(億円)



◆負債・純資産

(億円)



●回転月数(ヶ月)

2014/3 2015/3

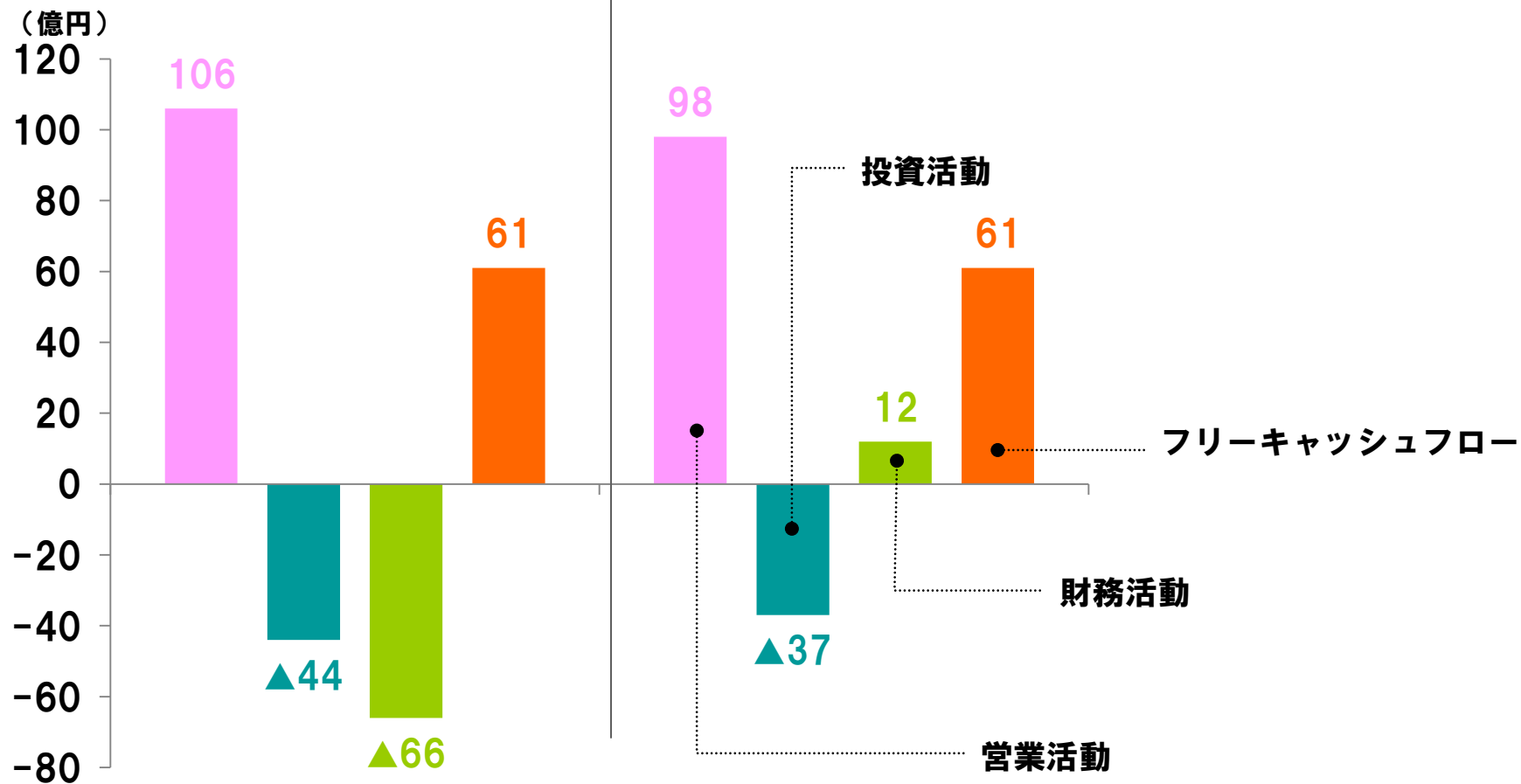
売上債権	2.8	3.0
たな卸資産	3.0	3.5

●自己資本比率(%)

2014/3 2015/3

73.5	73.3
------	------

キャッシュフロー



期首現金残高	432
期末現金残高	453

期首現金残高	453
期末現金残高	569

ご参考: クリスティのバーチャルリアリティシステムを米国自動車メーカーが採用 (2015.4.28 米国にてプレスリリース)

- GM社 Power wall
(Christie Mirage 4k 2台)



大型スクリーンに
車両外観を静止画、
動画(120Hz)で投影し、
レビューが可能
(2D、3D対応)

Christie Mirage 4k 25 3DLP®



世界初 4k (120Hz)
DLP® プロジェクタ (25,000ルーメン)

- GM社 CAVE
(Christie Mirage HD6K-M 6台、Mirage WU14K-M 1台)



4面スクリーンに実物大の
3D画像を投影し、車内まで
デザインレビューが可能

Christie Mirage HD6K-M 3DLP®



Christie Mirage WU14-M



USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）コーポレートコミュニケーション部
（03）3242-1836
contact@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/>